

411足場を起因物とする死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	小業種	労 働 者 規 模
1	2017	12	15~16	新築工事現場で、外壁の筋交いの取り付けが終わり、脚立から下りた際に足場から足を踏み外し、1階へ落下した。その際に右足指を3本骨折し、倒れたときに額を木くずで切った。	56	1	30202	1~ 9
2	2017	12	8~9	店舗新築工事現場内で、外部足場の養生作業をするためシートを運んでいるとき、約4mの高さの足場開口部（筋交いのない作業床）から転落して被災した。	30	1	30201	10 ~ 29
3	2017	12	13~14	自動車整備工場新築工事において、足場上にて屋根材をトラックから運ぶ作業中に、手元に集中していたため道板の隙間に右足を落としてしまい負傷した。	66	19	30202	1~ 9
4	2017	12	14~15	新車駐車場で、4tトラック車の文字看板入れ（ステッカーマーキング）をしているとき、2つの脚立に通した、地上1.5m位の高さのアルミ足場板からバランスを崩して転落し、左手をついて左手首を骨折した。	54	1	90209	1~ 9
5	2017	12	9~10	宅地造成工事現場において、不要となったコンクリート蓋を2tダンプに載せるため、重機積み込み用の足場を利用して人力で運搬中に、足を滑らせバランスを崩して転倒した。その際に2枚の足場の上に足が挟まり、左膝の外側を負傷した。	25	2	30199	10 ~ 29
6	2017	12	13~14	朝礼時に作業指示および安全指示を受け、2号ドック修繕船プロペラ付近にて作業を行っていた。午後からは船体付加物の上（高さ約1.7m）に乗り、プロペラ軸保護カバー取り付け作業	52	1	11501	500 ~

23	2017	12	11~12	被災者は、浄化槽のマンホール周囲モルタル塗り作業をするため、作業場所で打ち合わせをし、作業を開始した。作業完了後、作業場所から12m程度離れた2段足場の近くで携帯にて電話をしている時、突風にて西側コーナーから足場が倒壊している状況が視界に入り、逃げようとしたが間に合わず、倒壊する足場に当たって転倒し、負傷した。	60	5	30201	10 ~ 29
24	2017	11	16~17	ビニール張り替えの作業が終わり、足場から高所作業車の枠に足を掛けた為、足を滑らせて転倒した。	48	2	30309	1~ 9
25	2017	11	16~17	新築工事現場において、被災者が、高さ約2m上の足場にて階段壁の鉄筋組作業中、足場の板がずれ階段上に転落し、左膝、左腰部、左肘を強打し打撲を負った。（当初は、大したことはないと思い、受診しなかったが痛みが増し受診した。）	48	1	30201	1~ 9
26	2017	11	8~9	現場にて負傷した。作業を行っていたところ、誤って足場（高さ4m）から転落した。隣家との境界にあるブロック塀に腰を打った後、隣家の庭に落下した。	23	1	30209	1~ 9
27	2017	11	11~12	外部足場解体初日、建物北面にて上層部より足場を解体し、下段各段に配置した作業員に手渡しし、1階まで荷降ろしをしていた。11段目の布板を取り外し、下層に荷降ろしをしている際、8段目の作業員が7段目の作業員に渡しそびれて布板が落下した。6段目にいた作業員の首に当たった後、方向を変えて1階まで落下し、荷捌き作業をしていた被災者の頭に当たった。吹き抜け部には落下養生棚を設け、開口真上での荷降ろしは避けていたが、方向の変わった布板が、開口部に落下した。	37	4	30201	10 ~ 29
28	2017	11	8~9	一戸建て住宅建設現場にて上棟作業を開始した際、大工が外部足場上で、木材を大ハンマーで打ち込む準備をしていたところ、バランスを崩して転落しそうになった。結果、自身の判断で1.8m下の1階床に飛び降りたところ、着地には成功したが、衝撃が両足に走り、診断の結果骨折が判明した。	39	3	30202	1~ 9

29	2017	11	12～ 13	原因は、足場ブラケットのボルト部の劣化による破断である。 ブラケット足場上で躯体コンクリート打設の作業後、安全帯を外し、次の施工場所へ移動しようとして片付けをしていた際、ブラケット足場のクランプのボルトが破断し、足場布板と共に3.7mの高さから落下した。背中の中胸椎付近から落下した。	44	1	30202	10 ～ 29
30	2017	11	9～ 10	凍結した魚の脱パン作業中に足場に足を掛けていたが、方向転換の際に足場を入れ替えようとしたところ、足場を踏み外して受傷した。	50	1	10103	50 ～ 99
31	2017	11	9～ 10	建築新築工事現場の2階部屋内の準耐火間仕切りの石膏ボード貼り作業を行っていた。脚立に足場板を取り付け、その上で上部電気配線を避けながら、足場板上を横移動していたところ、ビス打ち機のエアーホースに足が絡まった。その際、バランスを崩して床上に転落し、首左側を間仕切りの土台に打ち付け被災した。	60	1	30202	10 ～ 29
32	2017	11	14～ 15	工事現場にて階段中央の壁を組むために道板を、足場に脚立を使用し、十字に組み作業していた。作業が終わり上から道板を除けようとした際に、中央壁の型枠敷ばたに片足を置きコンクリートの手摺り壁にもう片足を置こうとしたところ、踏み外し1.5m程の高さから転落した。	47	1	30201	10 ～ 29
33	2017	11	16～ 17	家屋の新築工事現場で、足場の組み立てをしている所、誤って足場の踏み板を踏み外してしまい約5m下の隣地の犬走りに墜落し、各部位を骨折した。	21	1	30202	1～ 9
34	2017	11	16～ 17	塗装作業中、足場の上から足を滑らせして落下した。その後、左手首に全体重がかかり骨折した。	21	1	30201	1～ 9
35	2017	11	10～ 11	RC造5階建の事務所ビル建設工事現場の5階部分で脚立足場上で型枠解体作業中、バランスを崩して足場から約1.5m下の床面に転落し、右足かかとを骨折した。	36	1	30201	10 ～ 29
				個人宅新築工事において、基礎打設工事の為、コンクリート圧				

36	2017	11	13～ 14	送車を使用していたところ、圧送車のアームが足場に触れ、その衝撃で足場の一部が落下し、作業員の太ももに当たり負傷したものである。なお、現場は勾配があり、道路より下での作業であった為、圧送車のアームを足場の上へ伸ばし、ホースを下へ垂らしながらの作業であった。	33	4	30202	1～ 9
37	2017	11	8～9	搭屋看板工事現場にて、足場北側面最上段（高さ5.3m）から足場材（5mの単管）を足場下の作業員に渡そうとした際、足を滑らせ転落した。その際、右腕の手首から肘関節にかけ骨折した。右足のふくらはぎを打撲した。	23	1	30209	1～ 9
38	2017	11	16～ 17	屋根の修繕工事で平屋建て家屋屋根の漆喰ラバー打ちを終わり、地上へ降りる時、足場に掛けたブラケットを使用して降りる最中にブラケットから足を踏み外し、地上より1m20cm位の高さより転落して右腕を地面に強打し右肘を骨折した。	23	1	30202	10 ～ 29
39	2017	11	13～ 14	吊り足場解体作業中に、安全帯を掛け直す際、足場板を踏み外してしまい3m下へ落下した。	32	1	30105	10 ～ 29
40	2017	11	11～ 12	個人宅新築工事現場にて、軒天のボード貼りをしていた。足場が雨で濡れている状態での作業であったため、足を滑らせてしまい躯体との隙間（約40	63	1	30202	1～ 9
41	2017	11	15～ 16	元請事業主の倉庫内で部材の片付作業をしていた際、部材（柱）を立て掛けようとしたところ、先に立て掛けていた柱が倒れて来て、右手を挟み親指を裂傷した。	21	5	30202	1～ 9
42	2017	11	13～ 14	個人宅建築現場にて、強風のため、高さ2m弱の足場の上で外壁のタフシートの補強作業を行っていた。作業中、降雨のため、濡れた足場の段差に足を滑らせてしまった。単管を掴もうとしたが、掴むことが出来ず、回りながら肩から落ち転倒した。ヘルメットは着用していたが、落ちる際にずれ、左前側頭	65	1	30202	1～ 9

				部を負傷した。検査の結果、左前側頭部を骨折していた。				
43	2017	11	9～ 10	建設現場において枠組足場1段目（高さ20m）に立ち、梁にドリフトピンを打ち込む作業をしていた際足を滑らせ、尻を足場板にぶつけ、基礎コンクリート部から鉄筋が突き出している場所に転落し、太ももに鉄筋が刺さり受傷した。作業中、安全帯を腰に付けていたが、使用していなかった。	66	1	30201	1～ 9
44	2017	11	15～ 16	住宅雨漏り調査・雨樋交換の高所作業中に足場の上で体勢を崩し、腰を捻り受傷したものである。	49	19	30209	1～ 9
45	2017	11	16～ 17	外部足場組立において、手渡しによる足場材荷上げの作業を行っており、被災者は6段目で中継ぎ作業をしていた。荷上げの為、作業場所の足場板2枚敷きのうち、1枚を外し作業をしていた最中にバランスを崩し転落した。	26	1	30201	1～ 9
46	2017	11	21～ 22	店舗内の段差にて、接客の為、お客様のところへ向かった際に、誤って踏み外し、転倒した。左足首を骨折、靭帯損傷と診断された。	19	2	140201	10 ～ 29
47	2017	11	15～ 16	足場近接部にて生コン打設中に少しでも近道をしようとして、1m程度離れている足場同士を渡る際に足場間のスペースを落下し、その際に右側の胸・腕・顔を足場の構成板に打ちつけ打撲及び肋骨を骨折した。	58	1	30201	1～ 9
48	2017	11	11～ 12	ガス管理設工事において、150A鋼管（9m×5本=45m、重量900kg）を掘削溝内に吊り下ろす位置まで台車で運んだ。掘削溝から離れていた為、位置を調整していたところ、端部から掘削溝に滑り落ち始め、被災者がパイプと共に転落して挟まれ被災した。運搬台車はキャスター付きで、4輪とも回転するタイプであった。	46	9	30201	1～ 9
49	2017	11	9～ 10	高さ1.8mの脚立を並べ二段目に足場板をゴムバンドで固定をし、その上に乗り梁を上げる作業をしていた。その作業を終えて降りる際に、誤って足を踏み外して転倒した。	71	1	30202	1～ 9

50	2017	11	10～ 11	住宅建設現場にて、建築工事の躯体組み中、枠組み足場の階段上での安全帯の不使用と予測出来ない事態により、足場の階段上から転落した。	56	1	30202	1～ 9
51	2017	10	11～ 12	2号トンネル新設工事現場において、トンネル入り口に設置した足場の解体作業を行っていた。クレーンでつってきた足場のワイヤー取り外し作業中に、最後のワイヤーを外した際に足場が傾いたために体勢を崩し、1.7m位の高さから飛び降りた（転倒）際に左手を地面に着き負傷した。また、その際にアルミ階段が滑り落ちてきて、右ひざに当たって負傷した。	20	1	30102	10 ～ 29
52	2017	10	13～ 14	建物2階部分の外壁施行状況を確認していたところ足場より、足を踏み外して転落。左肋骨、胸椎横突起骨折。	37	1	30309	1～ 9
53	2017	10	9～ 10	本人は、管設置場所において、ビデ足場と鋼管パイプで組み立ててあった足場を解体する作業に従事していた。鋼管パイプを分解中に、鋼管パイプのクランプを外し作業を行っていたとき、足場2段目（約3m）から滑り、転げ落ち負傷したものの。	38	1	30309	30 ～ 49
54	2017	10	11～ 12	作業所内PCマリオン用作業床から立馬に乗り移る際に立馬が転倒し、右手首を地面と体で挟むようにして転倒。PCマリオン用作業床から立馬へと飛び移るように乗り移った事が災害発生の原因と考えられる。	44	1	30201	30 ～ 49
55	2017	10	13～ 14	立ち馬での作業時、幹線の配線作業が終わり立ち馬から降りようとした時に足をふみはずし、立ち馬の段差部を頭から滑り落ちるように転落した。肋骨3本骨折した。	42	1	30301	10 ～ 29
56	2017	10	15～ 16	店舗の天井壁紙張り替え施工時に、六尺脚立を2本使用し、五段目に足場板を敷き、脚立に安全帯をかけて施工中にバランスを崩し上部から落下した。安全帯とともに脚立も転倒し脚立で頭を打ち、左足から落下し、左足脱臼粉碎骨折した。	43	1	30202	10 ～ 29
				環状線の播脚に播脚補修のため設置されていた吊り足場の解体				

57	2017	10	13～ 14	作業を行っていた。被災者（1名）は、解体中の足場上で足場床板を取り外し、搬出のための集積作業を行っていた。落下防止安全ネットを撤去し足場床板を結束している線の撤去作業をした。被災者は安全帯を着用していたが親綱を先に撤去していたため、フックを掛けておらず作業中にバランスを崩して高さ5.82mのところから転落し溺水。病院に搬送されたが、死亡した。	18	1	30199	10 ～ 29
58	2017	10	9～ 10	台風21号により脱落した観音堂屋根のメッシュシート張を復旧作業中に誤って転落。	18	1	30202	1～ 9
59	2017	10	10～ 11	町営住宅改修工事にて、足場組み立て作業中に、南面足場の5層目の床の無い開口部から地面に落下した。	30	1	30201	10 ～ 29
60	2017	10	9～ 10	造成現場にて、擁壁築道工事の作業中、高さ1.8m程度の足場上を移動している際、パイプサポートが斜めに足場板を貫通するため開いていた隙間（20cm×30cm程度）に右足を取られ、バランスを崩し、築道中の擁壁型枠、サポートの鉄パイプ等に右肩を強打し被災した。	31	3	30201	30 ～ 49
61	2017	10	9～ 10	新築工事の建方作業中にて、足場にかかる際、D階段を使わずに近くにあった手摺を掴み、足場にかかるろうとしたら、手すりを掴んでいた手が滑ってしまい転落。丁度落ちた所に角材が置いてあり、そこに背中が当たり負傷した。	36	1	30202	1～ 9
62	2017	10	17～ 18	腰壁のシーリング打設時、作業床でない、足場材に立ちバランスを失い階段へ飛び降り着地に失敗し転倒。	23	3	30209	1～ 9
63	2017	10	10～ 11	看板シートめくりをするための仮設足場（高さ約3m）にいた時にバランスを崩して足場より転落した。	44	1	30309	1～ 9
64	2017	10	9～ 10	工場にて塗装工事ローリング足場で屋根下場作業中、スロープがあり道板を胴縁にかけて作業中、胴縁にかかっている板がハズれて高さ3.5m位の所から落下した。	52	1	30309	1～ 9

65	2017	10	10～ 11	足場の上で養生し、作業終了後、足場の手摺に乗ろうとした際、足を滑らせて足場から落下した。安全帯は腰道具に付いていたのだが、足場に付け忘れてしまい事故が起きた。	29	1	30309	1～ 9
66	2017	10	16～ 17	吊足場を撤去作業中、作業員同士が交差した際、安全帯のフックを外し吊足場上から吊りチェーンを投げた時、体にチェーンが引っ掛かり転落した。	20	1	30105	10 ～ 29
67	2017	10	8～9	朝礼KY終了後2階から1階に下りる折り返しの所で2回目の材料を1階へとりに行くときに少し足がもたつき、ネットにかけるハネ出の足場へほぼ骨を打ちほぼが切れ眼球から出血した。	68	3	30201	1～ 9
68	2017	10	14～ 15	被災者は、杭のコンクリート打設中、ミキサー車を誘導するため、3尺の立馬から降りようとした。後ろ向きに降りようとした時に1段目のステップ（高さ600）で足を滑らせて転落した。その際、地面の敷き鉄板に左肩を打ち付けて負傷したもの。	44	1	30201	1～ 9
69	2017	10	16～ 17	建売新築工事現場で台風の接近に伴う足場の養生シートを畳む作業をしていたところ、1階中段、足場板から足を滑らせて落下し、直ぐ下の足場に膝を突き怪我を負ったもの。	52	1	30202	1～ 9
70	2017	10	9～ 10	建物解体用に設置した足場の高さ9m付近で、足場の解体作業中に誤って足を滑らせ落下した。	41	1	30209	10 ～ 29
71	2017	10	14～ 15	倉庫出入口のシャッターを取り付ける作業で、出入口にシャッター柱を設置時に柱材料である鉄アングルを寸法サイズに切断する工程で、右手に工具のベビーサンダーを持ち、左手で鉄アングルを押さえ切断中に、サンダーの回転が力の加減により跳ね返り、サンダーが材料を押さえていた左手に当たり左手を切ってしまった。	49	1	30203	1～ 9
72	2017	10	15～ 16	農業用倉庫新築工事現場において、両手に資材を持ちながら歩いていたところ、足が滑り足場のパイプに胸を強打した。	67	3	30202	1～ 9

73	2017	10	14～ 15	事務所兼住宅の足場組立作業で、3段目が終わり休憩をするため地面に下りる途中、何かに足をつまずいて落下。	42	1	30209	1～ 9
74	2017	10	14～ 15	元請現場、宿舎新築工事で壁面タイル貼り作業をするため、ビケ足場の1段目天板（高さ180cm程度）に上がり、立ち上がろうとしたところ、頭が2段目の手摺りにぶつかり、そのまま転倒転落し、頸部を負傷したもの。	69	1	30201	1～ 9
75	2017	10	8～9	2階の本棚の中を塗ろうとした際、脚立から足を滑らせ、脚立と一緒に倒れて床に肘をついたところに脇腹が乗った状態になったと思われる。痛みはあったものの1日作業を終え、翌日になっても痛みが治まらなかった。骨折が判明した。	65	1	30202	10 ～ 29
76	2017	9	14～ 15	市立体育館入口の信号で、新聞配達業務中、青信号で直進中、右の方からの信号無視の軽トラックに衝突された。	21	1	30209	1～ 9
77	2017	9	15～ 16	担当者は災害当日、新築工事（85.00㎡、最高4.8M）施行中、作業点検のため見回り中、足場の作業床の上にあったボルトに足で踏み滑り、転倒し、床に墜落し負傷した。	69	1	30202	1～ 9
78	2017	9	14～ 15	船のホールド上でバケットの吊りワイヤー及び開閉ワイヤーの取り替えと平バケットからオレンジバケットの取り替え作業時、ホールド上にあがり振れ止めワイヤーをブームに取り付け中、なれなくて手間がかかりホールドの下で他の者が振れ止めワイヤーを押さえきれず、その結果ワイヤーに引っ張られる状態になりホールド内に落下した。	39	1	30309	10 ～ 29
79	2017	9	16～ 17	工場焼却炉内等点検委託において、3号炉内足場仮設中に仮設階段を使用して4階から3.5階に下りるために階段を一段下りたところ、仮設階段の上部フックと足場単管パイプの掛かりが悪かったため、階段が外れて、被災者が階段と一緒に3階作業床まで3.8m墜落し、左足首を受傷した。	57	1	30309	1～ 9
80	2017	9	13～	改修工事において、塗装養生作業中、仮設足場の上段から下段へ移動中に足を踏みはずし、鋼管足場に転落し体を強打し負傷	68	1	30209	1～

86	2017	9	9～ 10	吊り足場の解体作業場所で、SKパネルを使用した吊り足場を三人一組で床面パネルを取り外す作業を行っていた。被災者は自分の安全帯のフックを前方の吊りチェーン金具から取り外し忘れていた事に気づき、手を伸ばして取り外したが、この時あわてていたため2丁掛けのもう一方のフックを後ろの吊りチェーン金具に掛ける事を忘れていた。中央の作業者は外したパネルを床面に引き入れる為に、被災者方向にパネルを押し向きを変えようとしたが、被災者の位置を確認していなかった為、被災者の腰に当たりバランスを崩して足場床面から（約3mの高さ）橋下の法面ブロック部に墜落した。	20	1	30105	1～ 9
87	2017	9	9～ 10	外部足場の第1床で、外壁モルタル塗りの作業中、片手にバケツを持ち昇降設備を使用せず支柱を伝って地面に移動しようとした、その際に足を滑らせて右腕で身体を支え転落は免れたが、その時に肩を負傷したが、痛みを我慢できる程度であった為、作業を続け、元請の監督には報告せずに行った。その後、右肩腱板断裂と診断された。	51	1	30202	50 ～ 99
88	2017	9	16～ 17	当事務所の庭の手入れ作業後、片付け作業中、架台の上に置いてある道具を片付ける為、玄関に向かう最中に架台にしていたハシゴにつまずき石の階段に右足首を強打した。尚、当日は止血の為バンソウコウを貼り帰宅、翌日に痛みが酷くなった為、病院に行き8針縫い手当を受ける。	51	2	30209	30 ～ 49
89	2017	9	16～ 17	製作所工場K1の8機建屋8棟L3～4階部分の塗装工事を終えて、その作業近辺の足場を含めた清掃及び片付け作業中、誤って約9.5Mの高さの足場から転落し、足場下を清掃していた他の下請先従業員が接触して地面に叩きつけられ負傷したものである。	63	1	30203	1～ 9
90	2017	9	11～ 12	足場の上で養生作業中、足場板を一枚外していたところ、足場の一段目から転落し骨折した。	46	1	30202	1～ 9
			13～	外壁改修工事の現場で、足場解体作業中、地上約18m10段目付				1～

91	2017	9	14	近、荷降し作業前段取中バランスを崩し墜落した。	19	1	30209	9
92	2017	9	9～ 10	外部改修工事の現場において。外壁塗装作業中に、1階屋根上に設置した仮設足場上で、2階屋根下の破風板の塗装作業中に、仮設足場の歩行用板上を移動中に足を滑らせて、落下防止養生ネットのつなぎ目より結束紐が切れて落下した。約2m下の1階屋根の上に転落し、左肩腕・脇胸・腹を強打し、左側肋骨2本骨折・左肩・腕打撲、左肘裂傷等のケガをした。	45	1	30202	10 ～ 29
93	2017	9	11～ 12	新築住宅の組立工事で、1階玄関の壁パネルを立てる作業中、足場の上からパネルを支え次のパネルを待っていた所バランスを崩し、約2m下の土間コンクリートの上に落下した。	46	1	30202	1～ 9
94	2017	9	17～ 18	足場で作った棚整理（2段目高さ1.5m）をしていた時、バランスをくずし誤って足を踏み外し落下し負傷した。	61	1	30110	1～ 9
95	2017	9	9～ 10	ビデ足場板が外れて落ちた。足場にのぼり、2層目の足場板に足をついたところ、フックがはまってなくて転倒した為、後方に落ちた。	61	1	30209	1～ 9
96	2017	9	15～ 16	外壁貼り方施行中に足場を横に移動している時雨の為、足場が濡れていて足を滑らせ建物と足場の隙間より落下した。落下時、右肩より落ちた為左肩の打撲と後頭部を打撲した。	68	1	30201	10 ～ 29
97	2017	9	16～ 17	被災者当社従業員は、工事現場において、地上3mの足場上で外壁に防水シートを貼る作業をしていた。左に移動する際に、誤って、足場がない箇所に足を出してしまい、地面に落下し負傷した。	57	1	30202	1～ 9
98	2017	9	14～ 15	建築現場に断熱材を運ぶ際に左の胸を強打した。断熱材を左肩に担いで、玄関入口に向かっている時、入口手前に中途半端に分解された足場があった。その足場は当該ドライバーの胸の高さであり、左肩の断熱材で見えず左胸を強打した。負傷後、数日間は業務を継続していたが痛みがひかない事で約1週間後に	59	3	40301	10 ～ 29

				受診したところ、左肋骨にヒビが入っているのが確認された。				
99	2017	9	15～ 16	地内に於いて、住宅解体工事作業現場内で、がれきを片付作業中ビケ足場高さ68cmの横棒を跨いで通り抜けようとした、片方の足がひっかかり床コンクリートの上に左肩から転倒し負傷した。	54	2	30202	10 ～ 29
100	2017	9	15～ 16	支店改修工事現場に於いて足場組立作業中、ビデ足場を2つ持ち上げて地面に置こうとした際、体勢が崩れ、下に置いたときに2枚のビデ足場の間に左右環指を挟み負傷した。	52	7	30209	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。